

優秀賞

# 事故から学ぶ事故防止について

(近畿) トナン輸送(株)

村山 武弘

私は、運送会社で交通事故防止対策室の責任者として、日々事故防止と事故の処理に追われています。その中でも人身事故の対応は関係者全てに計り知れない苦痛を与え、二度と起こしてはならない悲劇と痛感します。

「事故の経験から学んだこと」

これまで数多くの人身事故を経験してきました。その中で、深く反省し、二度と繰り返さないために学んだことと、現在の取組みについて、いくつかご紹介します。

## 一、安全運転意識の重要性

どんなに注意していても、事故は突然起こります。しかし、ドライバーの安全運転意識を高めることで、事故のリスクを大幅に減らすことができると思います。

具体的には、

- ・安全運転に関する教育を定期的を実施することです。
- ・安全運転コンテストなどを開催し、安全運転を奨励する。賞罰によるメリハリをつけることです。
- ・ドライバーの疲労管理を徹底する。
- ・安全運転に貢献するドライバーに対する表彰制度を設ける。などは組織一丸となって取り組んでいます。

## 二、迅速な対応と情報の共有

事故発生直後は、迅速な対応と情報共有が重要です。被害者の方やご家族への対応は勿論のこと、警察や関係機関への連絡、事故原因の調査、再発防止策の検討など、迅速かつ適切な対応を行う必要があります。また、社内関係者への迅速な情報共有も重要です。事故の状況や原因、再発防止策などを共有することで、全体的な安全意識の向上にも繋がります。

## 三、被害者への誠意ある対応

事故の被害者の方やご家族にとって、事故は人生を大きく変える出来事です。そのため誠意ある対応を心がけることが重要です。

具体的には、

- ・迅速に謝罪を行い、お見舞いに伺う。
- ・事故原因を丁寧に説明し、再発防止策を伝える。
- ・被害者の方やご家族の話をしっかりと聞き、寄り添う。
- ・必要なサポートを提供する。

などに心がけています。

#### 四、再発防止への取組み

二度と事故を起こさないためには、再発防止への取組みを徹底する必要があります。具体的には、

- ・ 事故原因を分析し、再発防止策を策定する。
- ・ ドライバーに対する安全運転教育を強化する。
- ・ 車両の安全整備を徹底する。
- ・ リスク管理システムを導入する。

などを推進しておりますが、それらを徹底するのは人です。事故を起こす。特に人身事故を起こすことで人生が一変することの怖さがあることが伝わらなければ、運転への安全行動は変わりません。

伝える運行管理者等の熱意が強くなければ安全意識の向上と安全風土の土台はできないのです。現在は、運転する人へ伝える管理者の安全意識への向上を目指しているところです。

#### 五、謙虚な姿勢

事故は、運送会社の責任において起こるものです。そのため、常に謙虚な姿勢で対応する必要があります。傲慢な態度や責任逃れの言い訳は、被害者の方やご家族をさらに傷つけるだけでなく、会社の信頼を損ないます。

#### 六、社員一人ひとりの意識改革

事故防止対策は、交通事故対策室の仕事だけではありません。会社全体で取り組む必要がある課題です。

そのため、社員一人ひとりが安全運転意識を高め、責任感を持ち、協力することが重要だと考えています。

#### おわりに

人身事故は、関係者全てに計り知れない苦痛を与えます。二度と起こさないために、安全運転意識の向上、迅速な対応と情報共有、被害者への誠意ある対応、再発防止への取組み、謙虚な姿勢、社員一人ひとりの意識改革など、様々な取組みを継続的に推進していくことが必要です。事故対策室として、こらからも責任を持って取り組んでいく覚悟です。